

『障害がある俳優の活動を促進・サポートするための手引き 当事者キャスティングの高まりに即して』完成のお知らせ

現在、世界のエンターテインメント業界において、障害がある役を実際に障害がある俳優が演じる『当事者キャスティング』が行われつつあります。そのような流れの中、エンターテインメント業界と障害に関する専門的な知識の双方から障害がある俳優の活動をサポートする手引きを完成させました。

エンターテインメントの現場と障害科学の知見を融合した日本で初めてとなる作成作業には、本学出身の脚本家・演出家と筑波大学の教員及び大学院生・卒業生が参加しました。

これは、『全ての人が活躍できる社会』への一つの布石となると考えています。

筑波大学の障害科学は、すべての障害を対象とし、医学・生理学、心理学、特別支援教育学、障害福祉学等の各教員が協働しています。障害のある人のライフステージ全般にかかわる基礎から応用までの多様な研究を含み、全国でも類を見ない独自の学問分野となっています。

この度、筑波大学の卒業生であり脚本家・演出家として活躍されている藤井清美氏と、筑波大学の大村美保助教（障害科学域）、筑波大学人間総合科学学術院障害科学学位プログラム及びリハビリテーション科学学位プログラムの大学院生が中心となり、筑波大学の研究及び障害のある学生へのアクセシビリティ支援実践の成果を基礎として、障害がある俳優がエンターテインメント業界で活躍する際に準備すべきこと、また、迎える業界側が配慮・調整すべきことをまとめた手引を作成しました。

本手引きは実用的であることを目指し、作品の制作過程に沿って、俳優側とスタッフ側の双方が気をつける点、準備する項目を記しています。



（活動の様子）



この手引きはHP上でも公開され、誰もが無料で利用することができます。

このことにより、障害がある人が俳優を目指す際のハードルを下げるとともに、障害がある子どもたちにも、演技をするという新たな夢が広がっていくことが期待されます。

さらに、一時的な心身の不調を抱える俳優や自分の困りごとを説明しづらい子役など多くの人が手引きを使用することで、エンターテインメント業界がより働きやすい場所となり、また障害がある俳優の起用において日本が世界に先駆ける可能性も持っています。



(右から 今井宏美氏(精神保健福祉士・公認心理師)、大村美保氏(筑波大学人間系助教)、藤井清美氏(脚本家・演出家)、藤田麻梨子氏(筑波大学人間総合科学学術院リハビリテーション科学学位プログラム博士前期課程・社会福祉士・精神保健福祉士)、水田朱音氏(筑波大学人間総合科学学術院障害科学学位プログラム博士前期課程)、鈴木葉菜氏(筑波大学人間総合科学学術院障害科学学位プログラム博士前期課程・社会福祉士))

〈参考〉

STAGE (Support & Training for Accessible Growth in Entertainment エンターテインメント業界における障害のある人の能力開発と支援を目指す会) **HP**
[DISABILITY INCLUSION LAB. - MOK](#)

【問い合わせ先】

筑波大学広報局

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp